令　和　8　年　度

養　護　教　諭　専　門

（この問題は、全部で 8 ページです。）

時間は50 分間です。

解答は、別紙の解答用紙に記入しなさい。

受験番号		氏名	

081046

1　日本学校保健会「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」に基づいた学校における健康診断について、以下の問いに答えなさい。

(1)　栄養状態の検査の実際に述べられている部分からの抜粋である。（　①　）～（　⑦　）に当てはまる語句を答えなさい。

準　備

肥満及びやせなどの栄養状態の評価のためのスクリーニングとして、身長と体重の（　①　）、性別、年齢別、身長別標準体重などを用いて計算した（　②　）を用いる。

方　法

皮膚の色や光沢、（　③　）の有無、（　④　）の状態、筋肉や（　⑤　）の発達の程度等について、（　⑥　）あるいは触診により検査する。

判　定

栄養状態についての最終的な評価は、（　⑦　）が総合的に判断して行うものであるが、その判断に際しては、（　①　）、（　②　）曲線、（　③　）検査結果等を検討して、的確な判断を行う。

(2)　耳鼻咽喉科検診を実施する際に、念頭に置いた方がよい疾患及び異常等について、以下の（　①　）～（　④　）の疾患及び異常等を答えなさい。

疾患及び異常等	疾患及び異常等の説明
（　①　）	鼓膜に穿孔がなく、中耳腔に貯留液があり難聴の原因となり、耳痛や発熱のない中耳炎である。低年齢から難聴が持続していると、言語発達に遅れがでたり、情緒面に影響がみられることもある。
（　②　）	近年増加が著しく、その発症は低年齢化傾向にある。くしゃみ、水様性鼻漏、鼻閉が3主徴で、日常生活では集中力の低下や学習効率の低下などの障害をもたらすことがある。
（　③　）	咽頭の一番上にあるリンパ組織である。検診の際に直接視診できる場合は少ない。保健調査票の「口を開けていることが多い」などの項目や、疾病特有の顔貌、鼻閉などを参考にして診断を行う。
（　④　）	扁桃の大きさにはあまり関係なく扁桃肥大とは違う疾患である。年に4～5回以上の発熱とのどの痛みを繰り返す習慣性のものや、腎臓、関節、皮膚などの病気の誘因と判断される場合は治療の適応となる。

(3)　健康診断結果の活用のうち、保健教育における活用について述べられている部分からの抜粋である。（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を以下の語群**ア**～**コ**からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

健康診断はスクリーニングされた疾病・異常の予防や措置に対する指導にとどまらず、児童生徒等が自らの（　①　）を認識し、どうすればより健康な生活を送ることができるか、そのためには、どう（　②　）すべきかを指導することが重要である。学校における保健教育はこれらを踏まえて展開する必要がある。

ア　教科指導における活用

個人・集団の健康診断結果等を体育・保健体育等の教科指導に活用することが望ましい。

イ　（　③　）における活用

（　③　）においては、望ましい集団活動を通して、児童生徒等の心身の健康を増進し健全な（　④　）を育成するために保健指導等に健康診断結果等の活用を図るとよい。

ウ　その他の指導における活用

健康診断結果等でスクリーニングされた個々の健康問題に対して、定期的かつ継続的に、（　⑤　）・保健指導・健康相談を行う。

〔語群〕

ア　学級活動	**イ**　行動	**ウ**　カウンセリング	**エ**　健康問題	**オ**　生活態度
カ　対処	**キ**　生活習慣	**ク**　健康観察	**ケ**　特別活動	**コ**　健康状態

2　日本学校保健会「保健室経営計画作成の手引（平成26年度改訂）」における保健室経営について、以下の問いに答えなさい。

(1)　（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を答えなさい。

保健室経営計画とは、当該学校の学校教育目標及び（　①　）などを受け、その具現化を図るために、保健室の経営において達成されるべき目標を立て、（　②　）・（　③　）に運営されるために作成される計画である。

学校教育の基盤となる児童生徒の健康や安全を確保するには、（　④　）が相互に連携していくことが重要である。そのためには、（　⑤　）の保健室経営計画を立て児童生徒の心身の健康づくりを効果的に進めていくことが必要である。また、保健室経営計画を立てることによって養護教諭の職務（専門領域）や役割を教職員等に啓発していく機会ともなる。

081047

(2) 波線「養護教諭の職務（専門領域）」については、中央教育審議会答申（H20.1）において、「保健室経営」等の５項目に整理されている。残りの４項目を答えなさい。

(3) 以下の文章から正しいものを二つ選んで記号で答えなさい。（完全解答）

ア 学校保健計画や保健室経営計画は養護教諭が中心となって作成し、全教職員が取り組む基本計画である。

イ 保健室経営計画は「学校教育目標」「保健室経営目標」「目標を達成するための具体的な方策」「保健室の利用方法」「評価計画」等が主な内容となる。

ウ 養護教諭に求められている役割として、学校内及び地域の医療機関等との連携を推進する上でコーディネーターの役割や、健康・安全にかかわる危機管理への対応などがある。

エ 保健室の機能は、学校保健安全法第10条（保健室）に示されている「健康診断」「健康相談」「保健指導」「救急処置」に加え、「保健情報センター」などの機能がある。

オ 保健室経営計画の評価は、単年度計画としていることから計画の実施による児童生徒の変容等を把握できるものもあるが、できないものもあることを周知することが必要である。

3 日本学校保健会「学校検尿のすべて（令和２年度改訂）」に基づいた子供の糖尿病について、以下の問いに答えなさい。

(1) 子供の糖尿病は発症の原因や症状の特徴、体質との関係、発症しやすい年齢などから、２つのタイプに大別される。以下の表（ a ）～（ g ）に当てはまる語句を答えなさい。

【子供の糖尿病の種類と特徴】

	1　型	2　型
体　型	やせ型	太り気味
発病経過	（ a ）	（ b ）
糖尿病性ケトアシドーシスの頻度	乳幼児で多くみられる	（ c ）の多飲時にみられる
原　因	膵β細胞における（ d ）の異常	肥満、（ e ）の悪化
糖尿病昏睡の頻度	乳幼児でしばしばみられる	まれ
家族内の糖尿病	家族内に糖尿病者は少ない	家族内に糖尿病者が多い
治　療	（ f ）の注射が治療の中心	（ g ）療法と運動療法及び経口血糖降下薬
発症年齢と頻度	6～7歳と10～12歳に多く、乳幼児にも発症する	10～15歳以上に多く、乳幼児ではまれ

(2) 「学校等における重症の低血糖発作時のグルカゴン点鼻粉末剤（バクスミー®）の投与について」（令和６年１月25日付け 文部科学省事務連絡）において、児童生徒等が重症の低血糖発作を起こした場合に、当該児童生徒に代わって教職員がグルカゴン点鼻粉末剤（バクスミー®）の投与を行うにあたり、医師法違反にならないための４つの条件が示されている。４つのうち、２つの条件を簡潔に答えなさい。

4 日本学校保健会「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引（令和３年度改訂）」に基づいた学校における健康相談及び保健指導について、以下の問いに答えなさい。

(1) 「発達段階別身体の健康問題の特徴と理解」に示されている、青年前期（中学校）について述べられている部分からの抜粋である。（ ① ）～（ ⑥ ）に当てはまる語句を以下の語群**ア**～**シ**からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

○ この時期の成長・発達は個人差が大きく、（ ① ）も著しいのが特徴である。発達のバランスという観点から個々の生徒を見る必要があり、（ ② ）を心掛けることが望ましい。身長は、学童期の年間成長率（約６ｃｍ）を上回り、女子は男子より約２歳早く伸び始め、身長の伸びが止まるのも２歳ほど早い。この時期に男子は（ ③ ）量が増加し、女子は（ ④ ）が発達する。学童期に引き続き肥満とやせに早期に対応することが大切である。

○ ホルモン内分泌器官の発達が盛んになり、身体が急速に変化する、性衝動や初経、ひげが生えるなどがみられ、とまどいや罪悪感をもちつつ、一定の対応もできてくる。性への関心や異性への興味も高まってくる。初経年齢、精通年齢の平均は（ ⑤ ）してきており、最近、さらにやや加速していると言われている。

○ 一方で（ ⑥ ）の調節が崩れやすい時期でもあり、心身とも不安定となりその不調を訴える生徒が多くなる。疾患としては心身症を伴う不登校、[A]、ストレスが原因となっている[B]などに注意が必要である。

〔語群〕

ア 低年齢化	**イ** 男女差	**ウ** 反射神経	**エ** 皮下脂肪	**オ** 甲状腺機能
カ 年齢差	**キ** 高年齢化	**ク** 自律神経	**ケ** 筋肉	**コ** 保健指導
サ 骨密度	**シ** 個別対応			

(2) (1)の［ A ］、［ B ］には疾患名が入る。以下の説明を読み、それぞれの疾患名を漢字で正しく答えなさい。

A	立ちくらみ、めまい、気持ち悪い、動悸、息切れ、腹痛、頭痛などの脳貧血症状や自律神経症状を示す子供の自律神経失調症である。症状は一般的に午前中に強く、朝なかなか起きられない。小学校高学年から高等学校までの年齢に多くみられ、不登校を伴うことも少なからずある。
B	腸管機能の亢進した病態に基づき、腹痛、腹部膨満感及び便通異常（下痢、便秘、下痢と便秘を繰り返す）が持続し、種々の腹部の不定愁訴を訴えるが、器質的病変が証明されないものである。

(3) 健康相談を進めるにあたり、児童生徒を多面的・総合的に理解した上で、課題の本質をとらえていく必要がある。そのために必要な【医学的要因】と【心理社会的要因・環境要因】を把握するための情報を、それぞれ2つずつ答えなさい。

5 日本学校保健会「保健教育における個別指導の考え方、進め方（令和6年3月）」の中の「第1章　学習指導要領に基づく保健教育」について、以下の問いに答えなさい。

(1) 保健教育の体系については小学校、中学校、高等学校でほぼ共通しているが、主に中学校について取り上げる。生徒が心身の健康の保持増進を図っていく資質・能力を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うためには、保健体育科、特別活動、総合的な学習の時間、その他関連する教科等などの集団指導とともに、日常生活における指導及び子供の実態に応じた個別指導についても着目し、両者を関連させながら進めていくことが重要である。

この点に関わって、中学校学習指導要領第1章総則に記述されている内容について、以下の（ ① ）（ ② ）に当てはまる語句を答えなさい。

> 主に集団の場面で必要な指導や援助を行う（ ① ）と、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う（ ② ）の双方により、生徒の発達を支援すること。

(2) 以下の①～⑤の文章は、保健教育における個別指導について述べたものである。各文中に誤った記載が一か所あるので、その語句を書き出し、正しい語句を答えなさい。

① 保健教育での個別指導とは、学習指導計画に基づく保健教育の着実な実施の下で、児童生徒一人一人の健康に関する興味や関心・発育等や保健の学習課題等を踏まえた個別の指導と言える。

② 基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、児童生徒が自身の困りごとを解決できるようにするための指導である。

③ 保健体育科（保健分野）、学級活動、総合的な学習の時間などの集団指導の内容や時期等を踏まえつつ、個別の生徒や任意の小集団を対象として意図的・計画的に取り組むものである。

④ 子供たちの心身の発育・発達には個人情報があり、家庭の事情や背景も多様である。配慮を必要とする子供に寄り添うことが細やかにできる個別指導を充実することは有意義と思われる。

⑤ 実施に当たっては管理職のみならず全ての教職員の共通理解と協力による指導体制を確保することが不可欠であり、保健室経営計画や学校安全計画に位置付けることが望まれる。

6 次の状況において、養護教諭として行うべき応急処置とその対応について、以下の問いに答えなさい。

> 給食時間中に小学1年生の児童Aがパンを食べていて、急に声を出さずに苦しそうにもがきだしました。息はしているがゴロゴロ・ヒューヒューといった呼吸音が聞こえます。担任に呼ばれた養護教諭が駆け付けたときは、顔色や爪の色が紫色になっていました。

(1) この状況から推測される児童Aの状態を答えなさい。

(2) この事例の「顔色や爪の色が紫色」という症状を表す用語を答えなさい。

(3) 本事例において、養護教諭として行うべき救急処置とその対応について簡潔に答えなさい。

7 日本学校保健会「就学時の健康診断マニュアル（平成29年度改訂）」に示されている内容について、以下の問いに答えなさい。

(1) 就学時の健康診断の目的3つのうちの2つを簡潔に答えなさい。

(2) （ ① ）～（ ⑤ ）にあてはまる語句の正しい組み合わせはどれか、**ア～オ**から一つ選んで記号で答えなさい。

> 処置歯が多数歯あり、なおかつ（ ① ）がみられる場合は、入学時までに（ ② ）に進行する可能性が高いため、【 A 】として担当歯科医師（ ③ ）へ記入する。【 A 】とは、「歯冠修復終了歯が、（ ④ ）以上、または（ ⑤ ）以上で、かつ（ ① ）が検出された者」と定義している。

ア	① CO	② う蝕	③ 所見欄	④ 乳歯2歯	⑤ 全歯5歯
イ	① 要注意乳歯	② むし歯	③ 備考欄	④ 乳歯3歯	⑤ 永久歯1歯
ウ	① CO	② う歯	③ 所見欄	④ 乳歯2歯	⑤ 永久歯2歯
エ	① CO	② う蝕	③ 所見欄	④ 乳歯3歯	⑤ 永久歯1歯
オ	① 要注意乳歯	② う歯	③ 備考欄	④ 乳歯2歯	⑤ 全歯5歯

(3) (2)の【 A 】に当てはまる語句を記入するとともに、【 A 】に対する事後措置を簡潔に答えなさい。

8 日本学校保健会「学校における水泳プールの保健衛生管理（平成28年度改訂）」に基づいた水泳のための健康管理・水質管理について、以下の問いに答えなさい。

(1) 「内科」「眼科」「皮膚科」の疾患がある者に対して、水泳の可否について医師の診断が必要な疾患名を2つずつ答えなさい。

(2) 「あたまじらみがある時の水泳授業の参加の可否」について教員から相談された場合の適切な回答を簡潔に答えなさい。

(3) 以下は水泳プールの水質基準の意義と目的について述べた文章である。（ ① ）～（ ⑤ ）に当てはまる語句を以下の語群**ア～コ**からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

> プールの水質については（ ① ）やpH値、大腸菌や（ ② ）、有機物等、（ ③ ）、総トリハロメタン、（ ④ ）の処理水を定期的に検査することとなっています。
> 日常点検は、（ ① ）、pH値、（ ⑤ ）、危険物の有無などについて行うことになっています。（ ⑤ ）に常に留意するとともに、水中に危険物や異物が無いことを確認します。

〔語群〕

ア 浮遊物	**イ** 施設	**ウ** 遊離残留塩素	**エ** 沈殿物	**オ** 異物除去後
カ 循環ろ過装置	**キ** 透明度	**ク** 濁度	**ケ** 雑菌	**コ** 一般細菌

(4) (3)の二重下線pH値の基準値及び、その基準値に設定されている理由を簡潔に答えなさい。

令和8年度 養護教諭　　解答用紙

受験番号		氏名		※

※は記入しないこと

1	(1)	①		②		③				
		④		⑤		⑥				
		⑦								
	(2)	①				②				
		③				④				
	(3)	①		②		③		④		⑤	
2	(1)	①			②		③			
		④			⑤					
	(2) 順不同可									
	(3)	・ (完全解答)								
3	(1)	a		b		c				
		d		e		f				
		g								
	(2)	①								
		②								

4	(1)	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
	(2)	A		B			
	(3)	【医学的要因の把握】		【心理社会的要因・環境要因の把握】			
5	(1)	①		②			
	(2)	①	→				
		②	→				
		③	→				
		④	→				
		⑤	→				
6	(1)		(2)				
	(3)						
7	(1)	①					
		②					
	(2)						
	(3)	【A】					
		【事後措置】					

<table>
<tr><td rowspan="5">8</td><td rowspan="3">（1）</td><td>内科</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>眼科</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>皮膚科</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>（2）</td><td colspan="10"></td></tr>
<tr><td>（3）</td><td>①</td><td></td><td>②</td><td></td><td>③</td><td></td><td>④</td><td></td><td>⑤</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">（4）</td><td colspan="10">【基準値】
pH値　（　　）　以上（　　）　以下であること</td></tr>
<tr><td colspan="10">【理由】</td></tr>
</table>

令和8年度 養護教諭　　解答用紙

受験番号		氏名		※

※は記入しないこと

1	(1)	①	成長曲線	②	肥満度	③	貧血			
		④	皮下脂肪	⑤	骨格	⑥	視診			
		⑦	学校医							
	(2)	①	滲出性中耳炎			②	アレルギー性鼻炎			
		③	アデノイド			④	扁桃炎			
	(3)	①	エ	②	イ	③	ケ	④	オ	⑤	ク
2	(1)	①	学校保健目標	②	計画的	③	組織的			
		④	全職員	⑤	課題解決型					
	(2) 順不同可	保健管理			保健教育					
		保健組織活動			健康相談（および保健指導）					
	(3)	ウ ・ オ（完全解答）								
3	(1)	a	急激	b	ゆっくり	c	清涼飲料水			
		d	自己免疫	e	生活習慣	f	インスリン			
		g	食事							
	(2)	○当該児童等及び保護者が事前に医師から書面で指示を受けていること ○当該児童等及び保護者から学校に対して書面も活用し、具体的に使用の依頼をしていること ○当該児童等を担当する教職員が、該当児童等本人であることを改めて確認するとともに、使用の際の留意事項に関する記載事項を遵守して使用すること ○使用後は当該児童等を必ず医療機関で受診させること									

4	(1)	①	イ	②	シ	③	ケ
		④	エ	⑤	ア	⑥	ク
	(2)	A	起立性調節障害	B	過敏性腸症候群		
	(3)	【医学的要因の把握】 ・健康観察の実施 心身の状態（よく聞く、見る、触れる、バイタルサインの確認等）、欠席、遅刻、早退等 ・保健室利用状況の確認 ・健康診断、保健調査等の健康情報等		【心理社会的要因・環境要因の把握】 ・関係教職員との情報交換 （問題理解のための事実関係が把握できる情報） ・個人面談 ・保護者との面談等			
5	(1)	①	ガイダンス	②	カウンセリング		
	(2)	①	学習指導計画	→	学習指導要領		
		②	困りごと	→	課題		
		③	学級活動	→	特別活動		
		④	個人情報	→	個人差		
		⑤	保健室経営計画	→	学校保健計画		
6	(1)	窒息またはアナフィラキシー		(2) 2点	チアノーゼ		
	(3)	●窒息 反応の確認 【反応がなくなったとき】 ・助けを呼び、１１９番通報をし心肺蘇生を行う。 【反応があるとき】 ・助けを呼び１１９番通報する。 ・傷病者が咳をしている場合は、できる限り咳を続けさせる。 ・まず背部叩打法を試みる。 ・背部叩打法で異物が除去できない場合は、腹部突き上げ法を行う。 腹部突き上げ法を行った場合は、救急隊や医師にそのことを伝える。			●アナフィラキシー ・助けを呼び、119番通報し、心肺蘇生を行う。 ・エピペン®を頻指行している場合には、緊急性が高いアレルギー症状があると判断したタイミングで注射する。 ・エピペン®を太ももの前外側に垂直になるようにし、カチッとなるまで押し付けたまま数秒間待つ。 ・ぐったり→仰向けで足を15～30cm高くする。		
7	(1)	①健康上の課題について保護者及び本人の認識と関心を深めること ②入学時までに必要な治療をしたり、生活規正を適正にしたりすることで健康な状態や就学が可能な心身の状態で入学するよう努める ③学校生活等に支障となる疾病等の疑いがある者や視覚・聴覚・知的等の障害、病弱者等をスクリーニングし、適切な治療の勧告や保健上の助言、就学支援等に結ぶ					
	(2)	エ					
	(3)	【A】　う蝕多発傾向者					
		【事後措置】 保護者に保健指導を行うとともに地域の歯科医療機関との連携を促すこととし、その旨、担当歯科医師所見欄に記入する。					

<table>
<tr><td rowspan="5">8</td><td rowspan="3">（1）</td><td>内科</td><td colspan="9">急性腸炎、急性腎炎、心臓病、ネフローゼ、貧血、気管支喘息など</td></tr>
<tr><td>眼科</td><td colspan="9">流行性角結膜炎、急性出血性粘膜炎、アレルギー性結膜炎</td></tr>
<tr><td>皮膚科</td><td colspan="9">とびひ（伝染性膿痂疹）、水いぼ（伝染性軟属腫）、アトピー性皮膚炎</td></tr>
<tr><td>（2）</td><td colspan="10">あたまじらみがあっても、適切な治療を始めればプールに入ってもかまいません。ただし、タオルやヘアブラシ、水泳帽などの貸し借りはやめましょう。なお、あたまじらみのある児童生徒については、適切な方法で治療することが重要ですので、医療機関に行くように指導してください。</td></tr>
<tr><td>（3）</td><td>①</td><td>ウ</td><td>②</td><td>コ</td><td>③</td><td>ク</td><td>④</td><td>カ</td><td>⑤</td><td>キ</td></tr>
<tr><td>（4）</td><td colspan="10">【基準値】
pH値　（5.8）　以上　（8.6）　以下であること
【理由】
pH値が適正範囲にないときの影響として、目に対して痛みを与える。またpHがアルカリ性に傾くと消毒効果が低下し、酸性に傾くと消毒効果は強くなるが、コンクリートの劣化や配管の腐食や浄化能力の低下をもたらす。</td></tr>
</table>